

**診療所医師を対象とした  
「治療方針決定コミュニケーションの実態」  
調査結果報告書**

**平成28年5月11日**

**株式会社QLife(キューライフ)**

## 調査の背景と結論

アドヒアランス(患者の主体的な服薬遵守)を重視して、治療方針の決定に患者側の意向を採り入れる医師は多い。「治療法決定コミュニケーション」の実態を確かめるべく、開業医を中心とした医師250人にインターネット調査を実施した。

調査の結果、多くの医師は「患者の声」を強く重視しており、わずか「1人」の患者の声でも、他の患者に広範に反映する様子が明らかになった。また、治療内容に関する患者の本音を積極的に「聞きたい」とする医師が多数派であった。

一方で、患者側の医薬知識の増加も実感しており、具体的な薬剤名を挙げて処方薬をリクエストする患者も増えている。さらに処方薬がOTCでも発売されて患者の身近な存在になると、その薬の処方を増やしたり減らす医師が4割弱に及ぶことがわかった。

### **1)「1人の患者の声」が、他の患者の治療方針にも大きく影響**

6割の医師は、「1人の患者」からでも具体的な要望を耳にすると、それ以降の患者との会話を変える。3割は、同一疾患に限らず全ての症例に反映すると回答した。

### **2)治療内容に関する患者の本音を「聞きたい」**

7割の医師は、治療内容に関する患者の本音を「聞きたい」と回答した。

### **3)患者からの治療内容に関する要望は「増えている」**

3割の医師は、患者が治療内容に具体的な要望を言うことが「増えた」とした。逆に「減った」と回答した医師はほとんどいない。要望の内容は、「治療必要性や見通しの詳細説明」「効果・副作用の詳細説明」「ジェネリックへの変更」「長期処方」の4つが多い。

### **4)患者からの医薬品「指名」希望が「増えている」**

医師の4人に1人は、患者が薬剤名を挙げて処方薬を希望することが「増えた」と感じている。

### **5)「患者が希望するから」を理由に、処方選択したことが「ある」**

医師の3人に2人は、「薬剤名を挙げて処方を希望」された場合に「患者が希望したから」を最大の理由として、その処方薬を選択したことがある。優先する希望内容は、「他施設の処方を継続」「テレビ・新聞・ネット情報の影響」「先発品/ジェネリックを希望」「剤形の希望」が多い。

### **6)患者の薬剤知識は「増えている」**

6割の医師が、医薬品名に関する患者知識が「増えた」と回答した。

### **7)スイッチOTC化で、処方を「増やす」医師2割、「減らす」医師も2割**

自分の処方薬がOTCでも発売され、患者に身近な存在になった場合に、その薬の処方に積極的になる医師と消極的になる医師はそれぞれ2割弱である。

## 【調査実施概要】

### ▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

### ▼実施概要

- (1) 調査対象: 診療所の理事長・院長・副院長・勤務医
- (2) 有効回収数: 250人
- (3) 調査方法: インターネット調査
- (4) 調査時期: 2015/8/11 ~ 2015/8/18

### ▼有効回答者の属性

#### (1) 性別・年代:

年代	男性	女性	n
30~40代	59	12	71
50代	118	6	124
60代以上	53	2	55
総計	230	20	250

年代	男性	女性	%
30~40代	23.6%	4.8%	28.4%
50代	47.2%	2.4%	49.6%
60代以上	21.2%	0.8%	22.0%
総計	92.0%	8.0%	100.0%

#### (2) 勤務施設:

	n	%
診療所の理事長・院長	188	75.2%
診療所の副院長(常勤)	18	7.2%
診療所の勤務医(上記以外)	44	17.6%
総数	250	100.0%

#### (3) 地域:

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
6.0%	0.8%	0.8%	1.2%	0.4%	0.4%	2.0%	1.2%	1.6%	1.6%
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
1.2%	2.4%	16.8%	6.8%	0.4%	0.0%	1.6%	0.0%	1.2%	1.2%
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1.2%	1.6%	8.8%	0.8%	1.6%	4.0%	9.6%	5.2%	0.8%	1.6%
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
0.4%	0.4%	1.2%	2.8%	0.8%	0.4%	1.6%	1.6%	0.4%	2.4%
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外		
0.8%	2.0%	1.2%	0.0%	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%		

【Q1】患者の一人から、「薬の処方時に●●を確認して欲しかった」との訴えがあった場合、その後、他の患者での治療法選択会話は変わりますか。

●●の例:

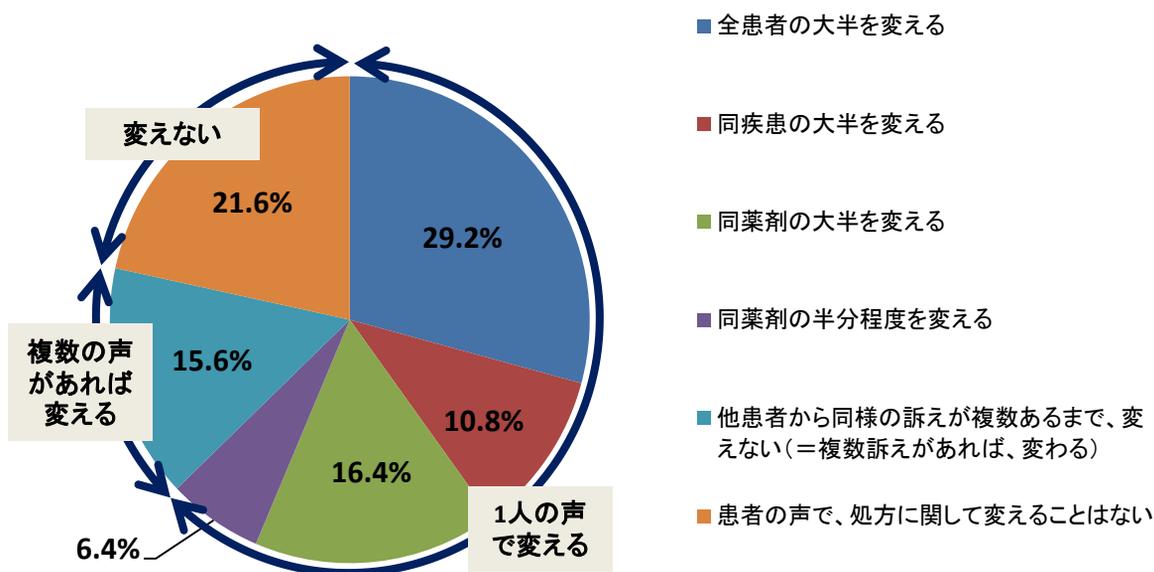
- 「一日の中で、忘れず飲む時間帯」
- 「過去に類似する薬を服用した経験」
- 「経口薬と経皮薬の、どちらが使いやすいか」
- 「即効性を求めるか、持続性を求めるか」
- 「当面のQOLと、将来QOLの、どちらを重視するか」

3割の医師は「患者の声」を得ると、それがたとえ1人の声であっても、同一疾患だけでなく「全ての患者の大半」に反映する。

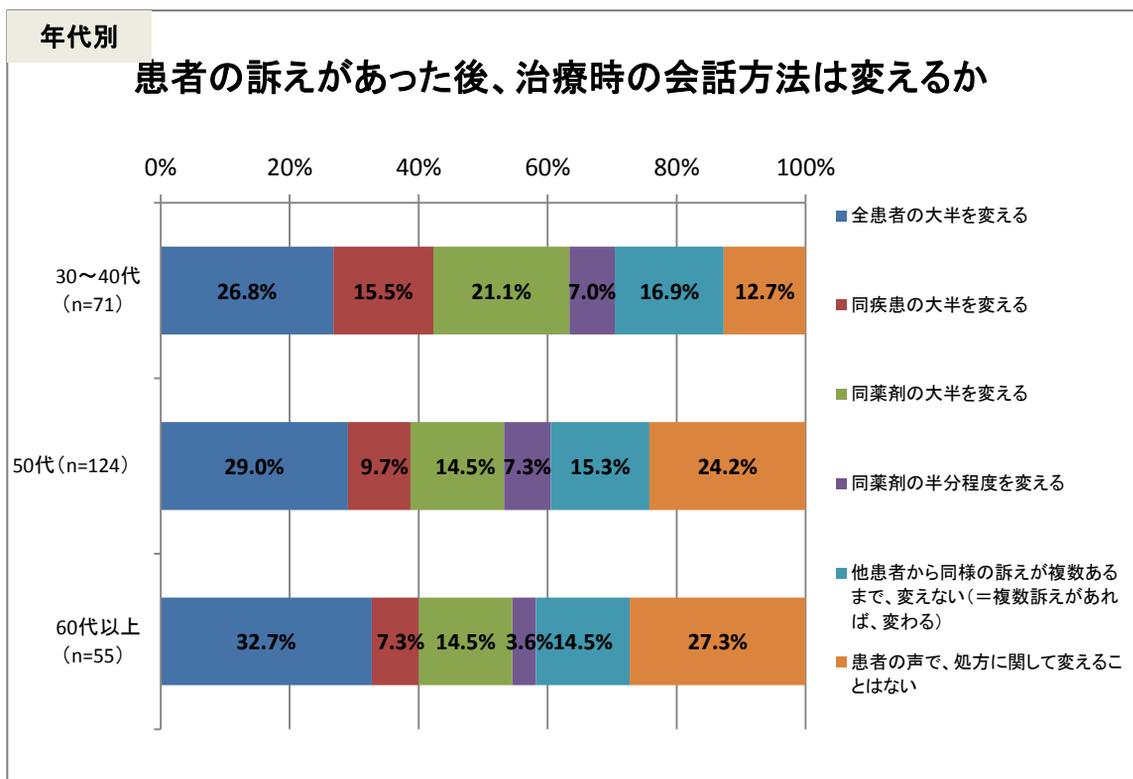
「同疾患／同薬剤の大半で」「同薬剤の半分程度で」変える医師まで含むと、1人の患者の声を他患者に広範に反映する医師は3人中2人に及ぶ。15.6%は「複数の患者」から訴えがあれば会話方法を変える、21.6%は患者の声で会話方法を「変えることはない」と回答した。

年代別で見ると、若年層のほうが、変える割合が高くなっている。

### 患者の訴えがあった後、治療時の会話方法を変えるか



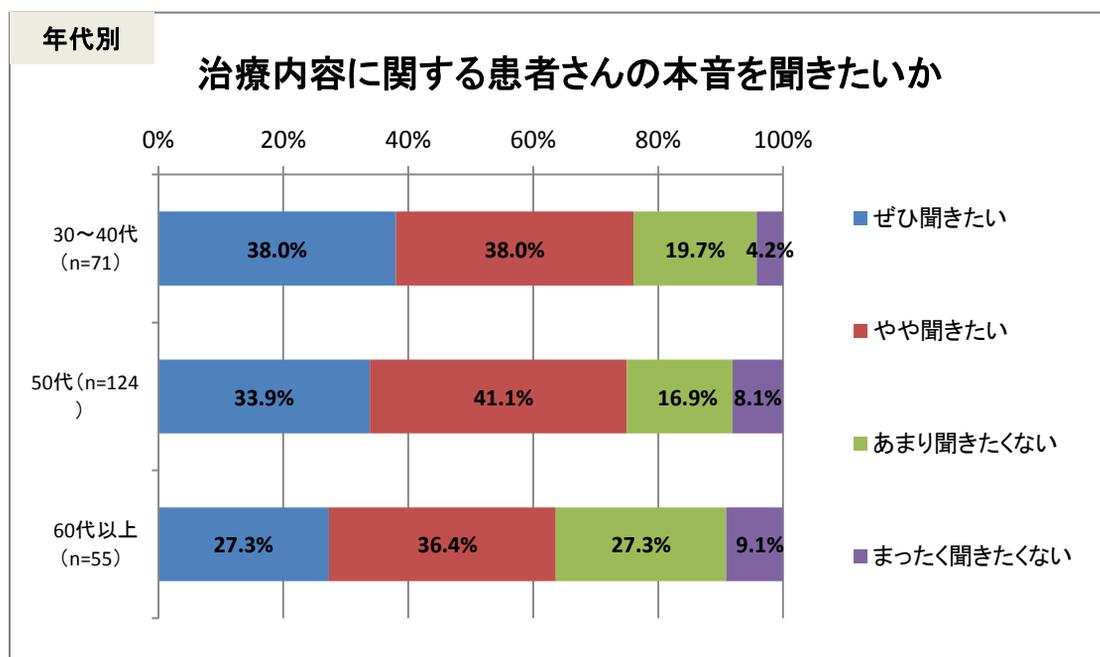
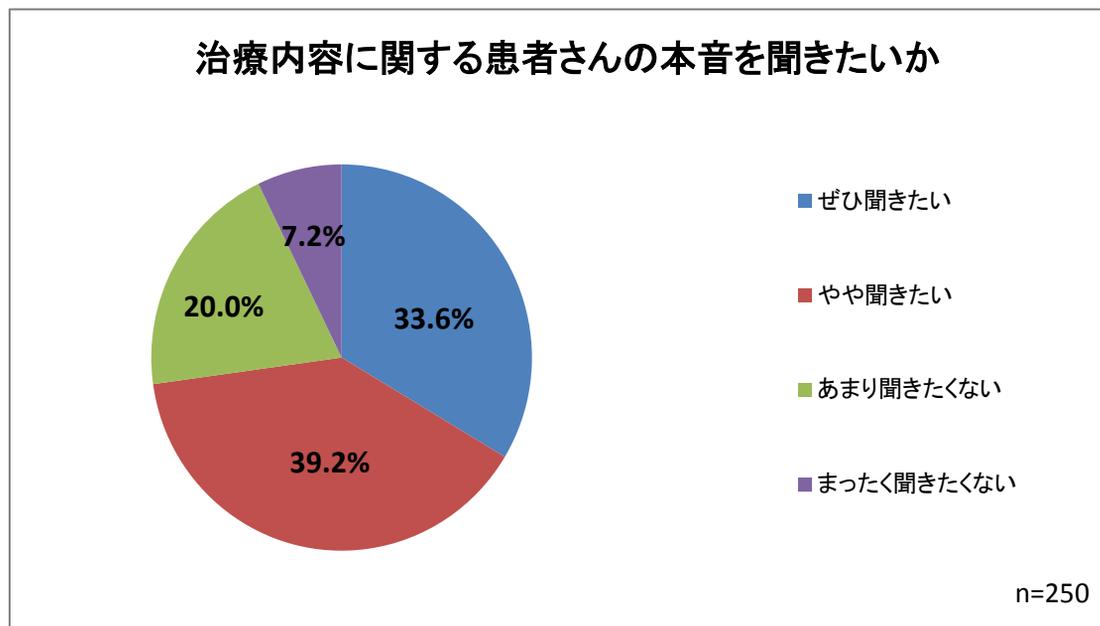
n=250



【Q2】このような「(接遇面などではなく)治療内容に関する、患者さんの本音」を、聞きたいと思えますか。一番近いものを選んでください。

7割の医師は、治療内容に関する、患者さんの本音を「聞きたい」と回答した。

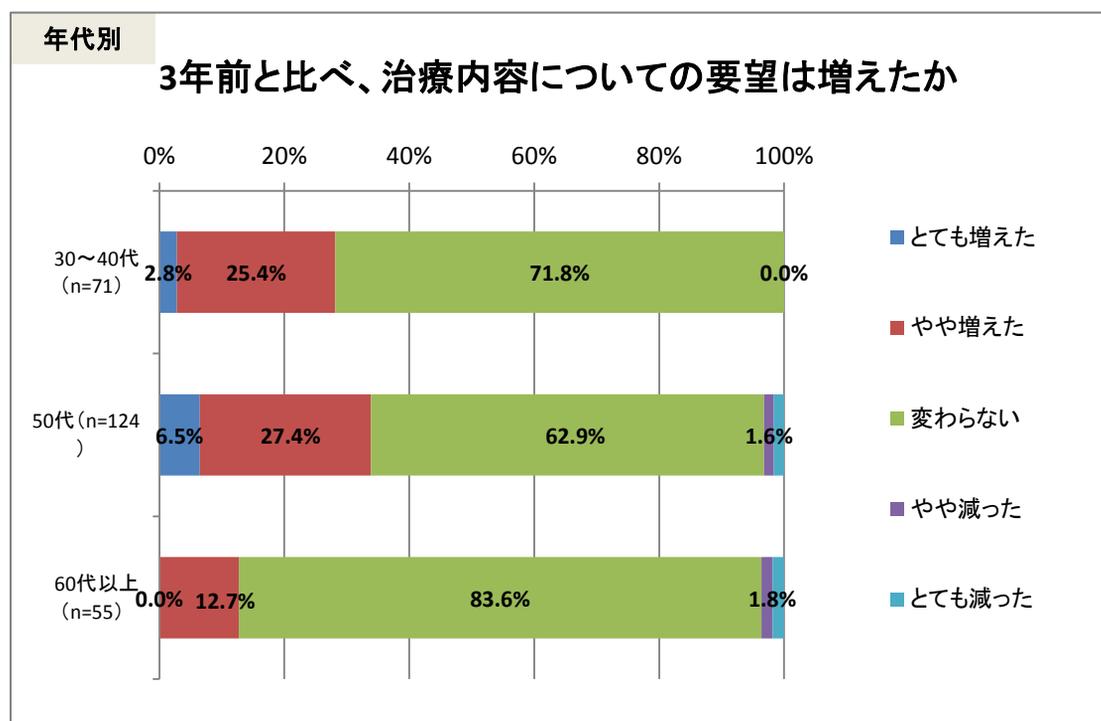
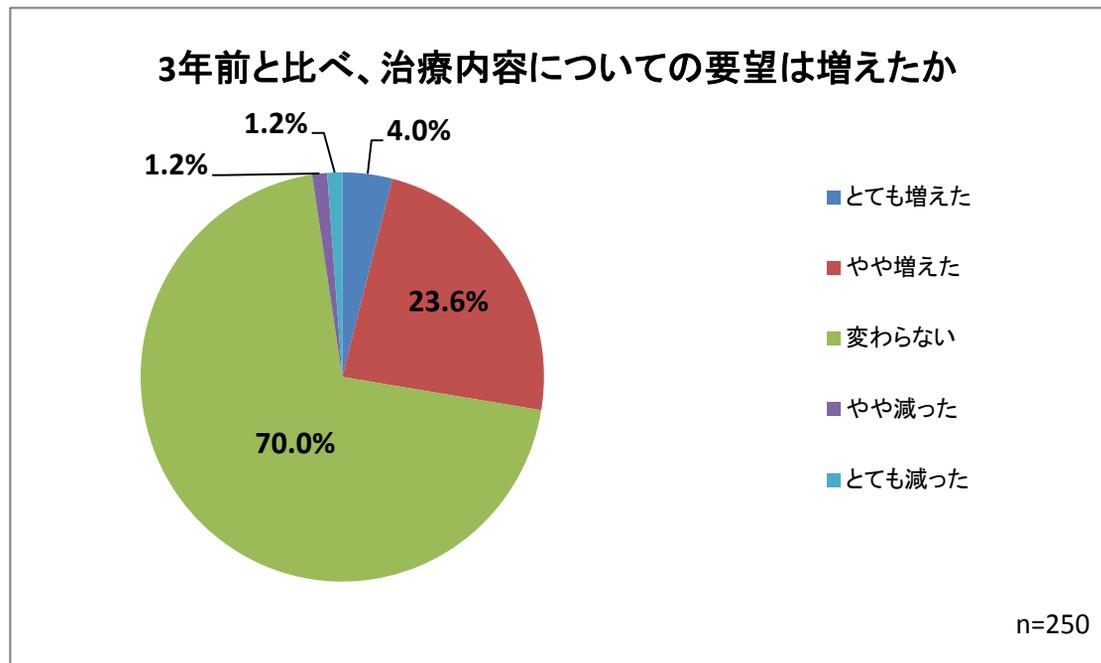
年代別で見たところ、若年層のほうが、患者さんの本音を「聞きたい」と回答した割合が高くなった。



【Q3】3年前と比べて、患者さんが治療内容について、あなたに具体的な要望をすることが増えたと思いますか。

3割の医師は、3年前と比べて、患者さんが治療内容について具体的な要望することが「増えた」と回答した。「変わらない」と回答した医師は7割、「減った」と回答した医師はほとんどいなかった。

年代別で見たとこ、50代が「増えた」と回答した割合がもっとも高かった。

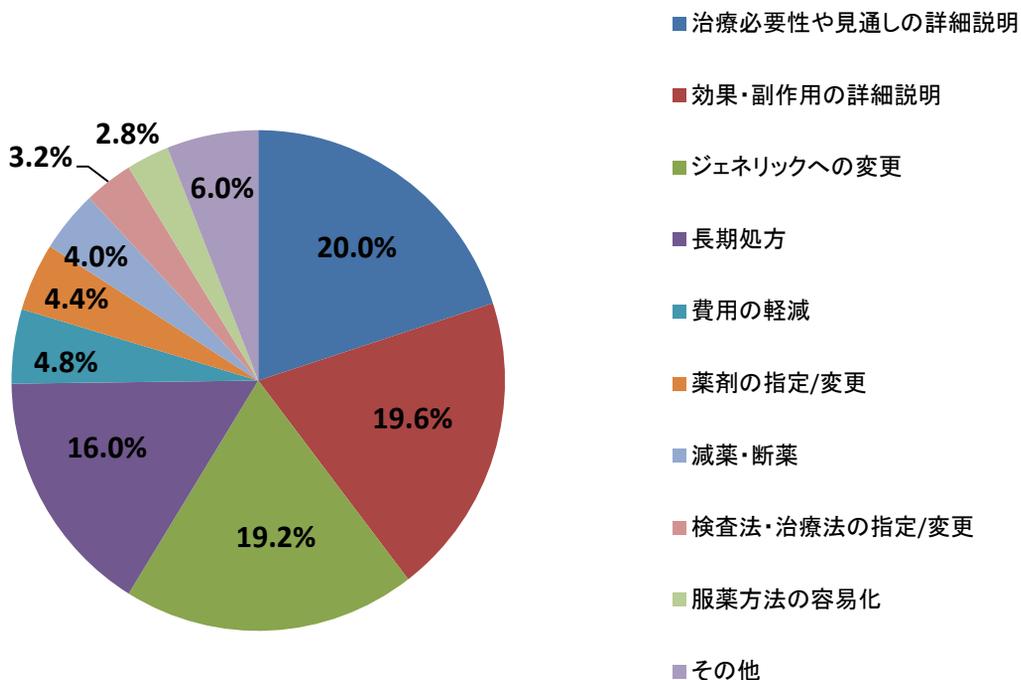


【Q4】患者さんからの「治療内容に関する具体的要望」は、何が一番多いですか。

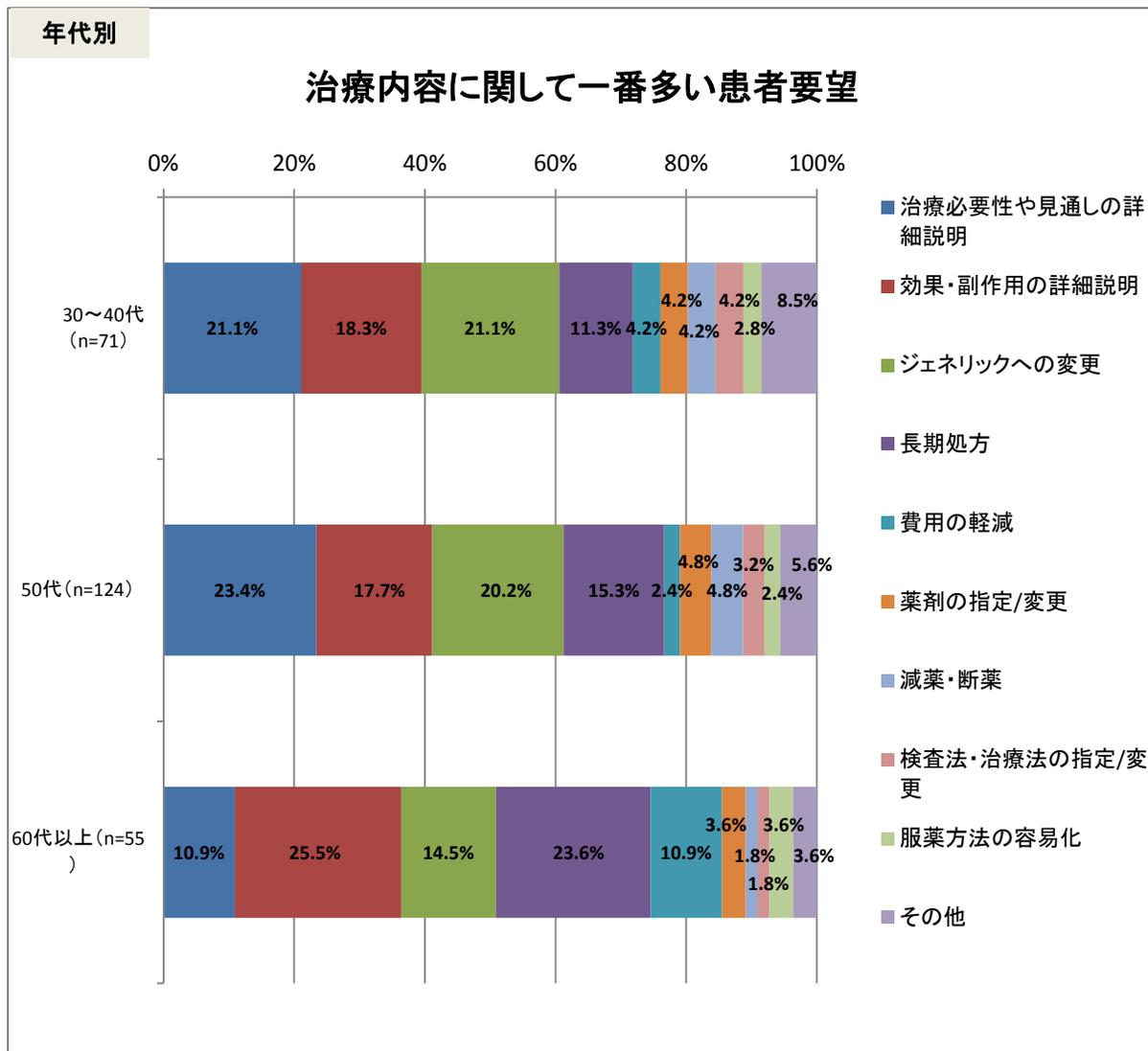
患者さんからの治療内容に関する要望は、「治療必要性や見通しの詳細説明(20.0%)」「効果・副作用の詳細説明(19.6%)」「ジェネリックへの変更(19.2%)」「長期処方(16.0%)」が上位を占めた。

年代別で見たと、年代が上がるにしたがって、「長期処方」と回答した割合が高くなった。逆に、年代が下がるにしたがって、「ジェネリックへの変更」と回答した割合が高くなった。

治療内容に関して一番多い患者要望



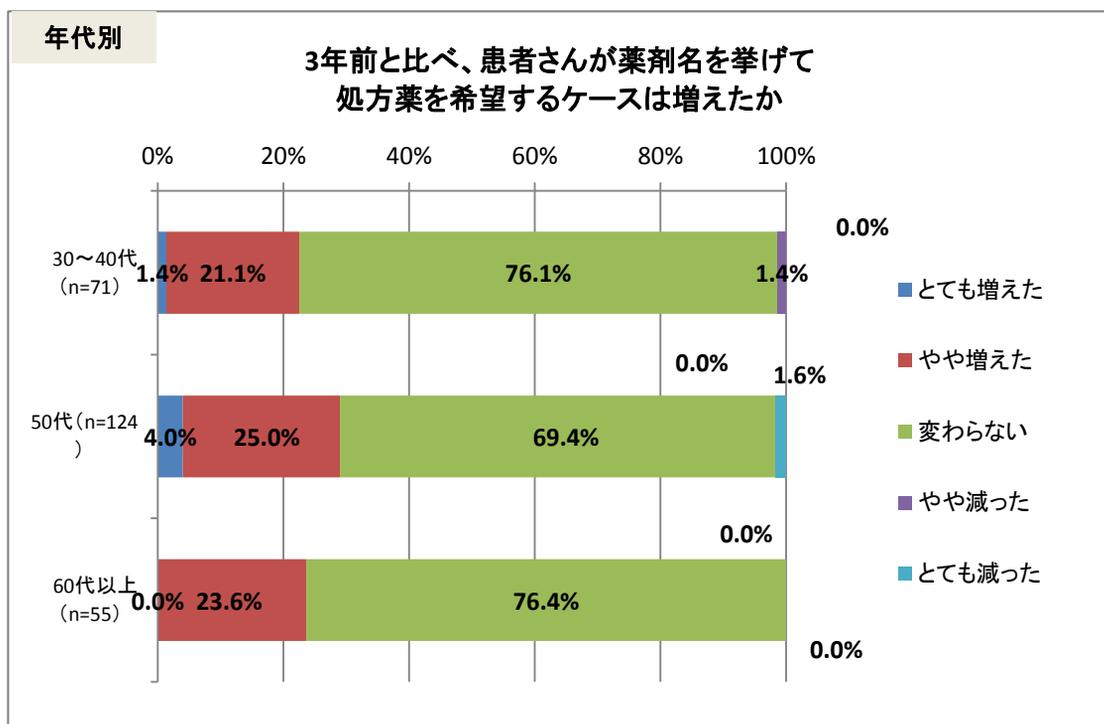
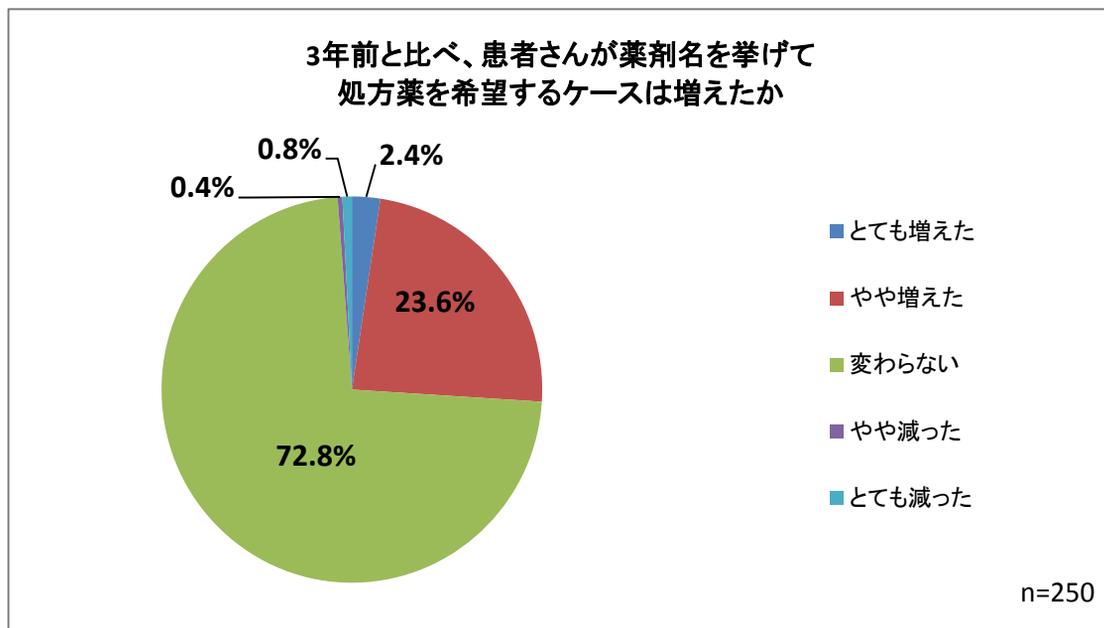
n=250



【Q5】3年前と比べて、患者さんが「具体的に薬剤名を挙げて処方薬を希望する」ケースは、増えたと思いますか。

医師の4人に1人が、3年前と比べて、患者さんが具体的に薬剤名を挙げて処方薬を希望するケースは、「増えた」と回答した。「減った」と回答した医師はほとんどいなかった。

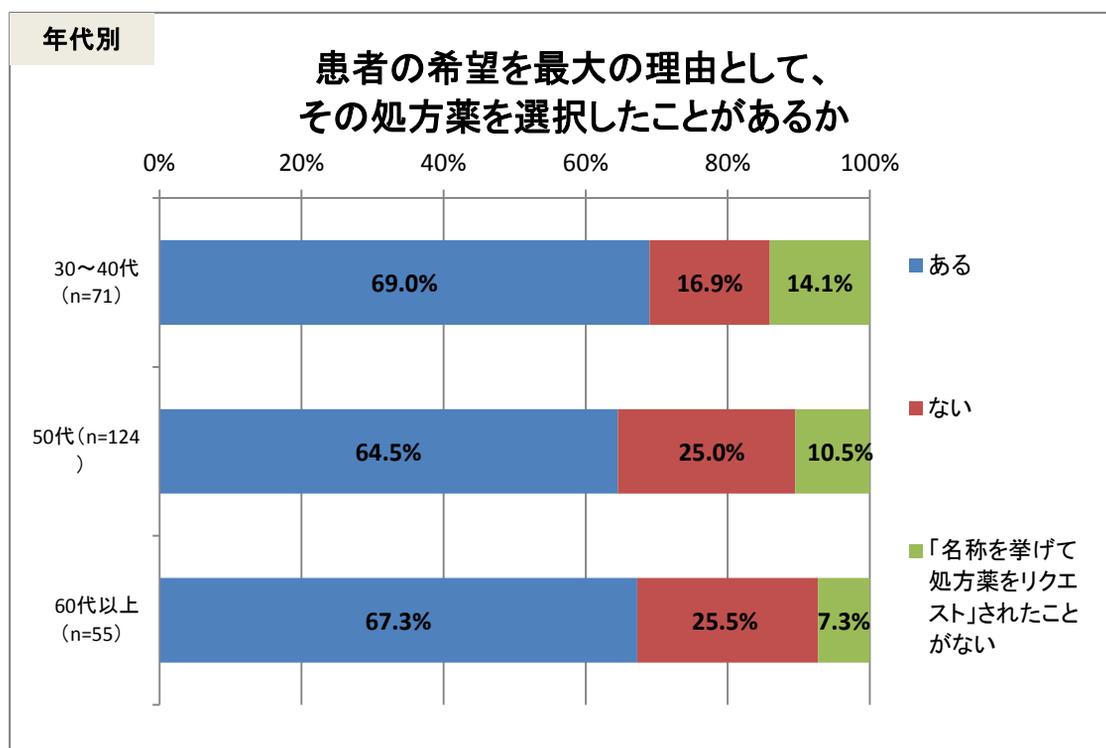
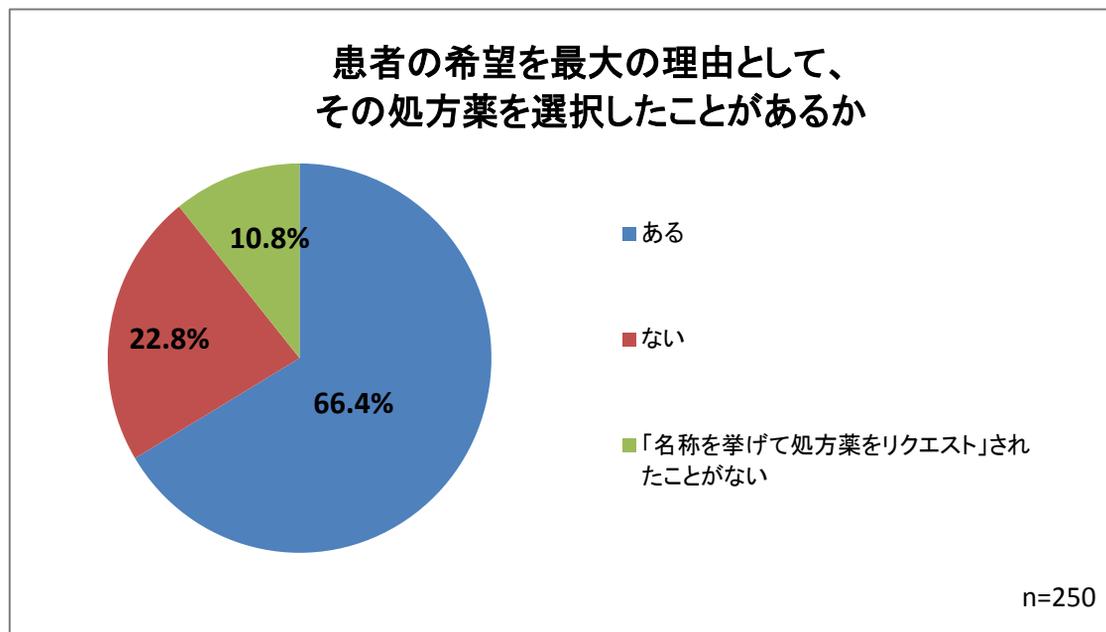
年代別では、大きな差は見られなかった。



【Q6】「薬剤名を挙げて処方薬を希望」された際に、「患者が希望したから」を最大の理由として、その処方薬を選択したことがありますか。

医師の3人に2人が、「薬剤名を挙げて処方薬を希望」された際に、「患者が希望したから」を最大の理由として、その処方薬を選択したことが「ある」と回答した。

年代別では、大きな差は見られなかった。



【Q7】「患者が希望」を最大理由に処方薬を選択した時の、具体的状況や理由を教えてください。(Q6で「ある」と回答した人のみ)

「患者が希望」を最大理由に処方薬を選択したことが「ある」と回答した医師を対象に、その際の具体的状況や理由を質問した。以下に代表的なコメントを記載する。

◆他施設で処方された薬を継続したい

- ・引っ越ししてきたが前の医療機関でもらっていた薬があってそれで緑内障コントロールは良かったから、と言われた。(勤務医／50代／兵庫県)
- ・急性咽喉炎の患者から、特定の抗菌剤を希望された、以前処方したとき効果があったとのことで。(理事長・院長／60代／北海道)
- ・以前に耳鼻科から処方されていた抗アレルギー薬の処方を希望された。(副院長(常勤)／40代／和歌山県)

◆テレビ・新聞・ネット情報を見て

- ・ネットで調べて薬剤を指定してきた。(理事長・院長／40代／北海道)
- ・テレビ番組で紹介された薬剤を希望されたので、特に副作用の心配もないので処方した。(理事長・院長／40代／大阪府)
- ・新聞やテレビの情報を理由に処方希望があり、それを処方したことがある。(理事長・院長／50代／滋賀県)

◆先発品を希望

- ・患者がジェネリックを拒否するため、変更不可として希望の先発薬を処方した。(理事長・院長／60代／東京都)
- ・ジェネリックではなく先発品にしてほしいと言われた。(副院長(常勤)／40代／石川県)

◆ジェネリックを希望

- ・点眼の使用感がより良い、同等のジェネリックに変更した。(理事長・院長／50代／神奈川県)
- ・ジェネリックのこの銘柄と指定を受けた。(理事長・院長／50代／山梨県)

◆剤形の希望

- ・同効薬で坐剤から経口剤への変更(もしくは逆の変更)を希望され、とくに問題ないのでその通りに変更した。(理事長・院長／60代／新潟県)
- ・シロップがきらい、散剤がきらいとかいう理由で、錠剤にて処方してほしい、と言われたり。(理事長・院長／50代／兵庫県)
- ・小児科なので剤形の希望がある。(理事長・院長／60代／愛媛県)

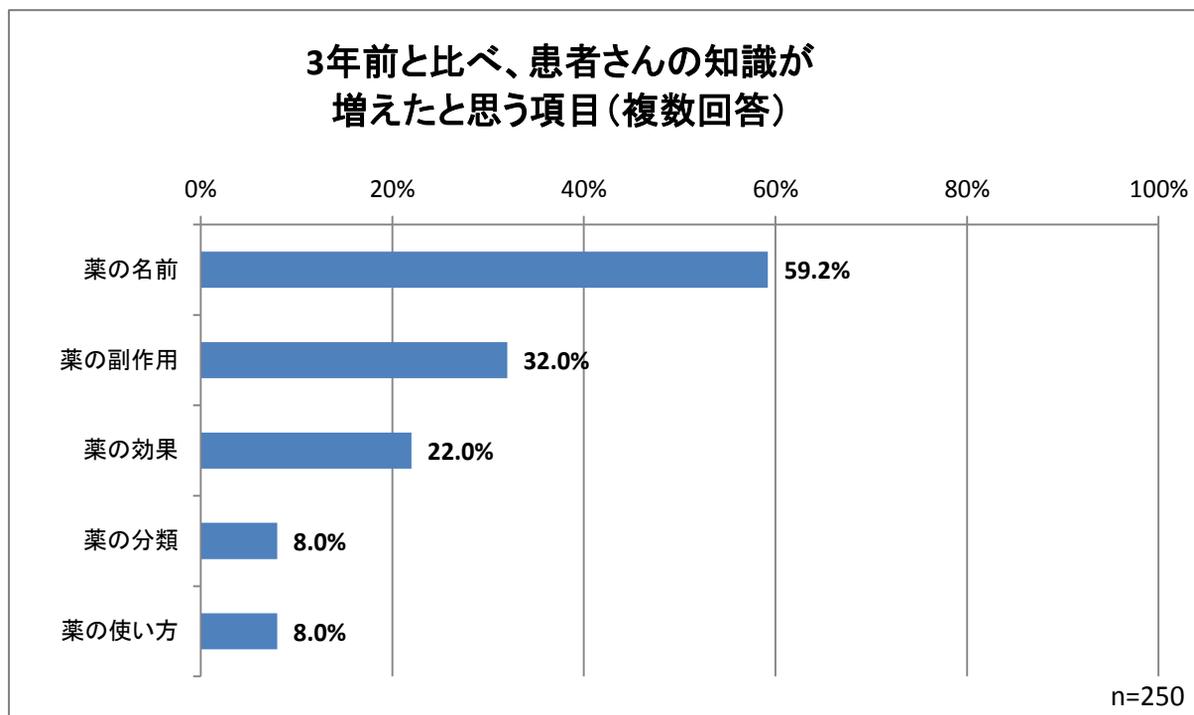
◆費用軽減の希望

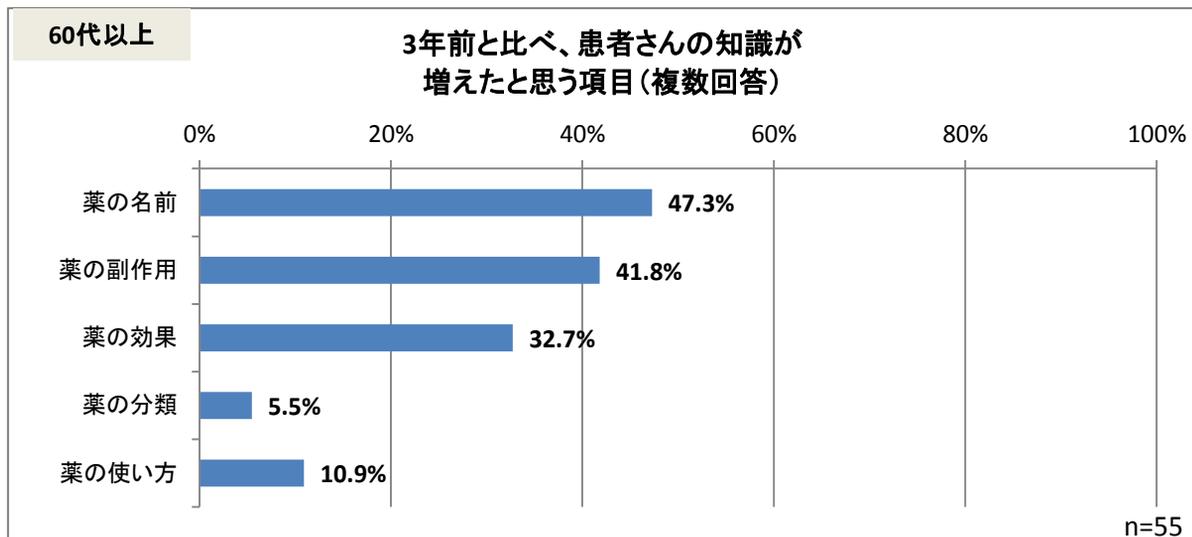
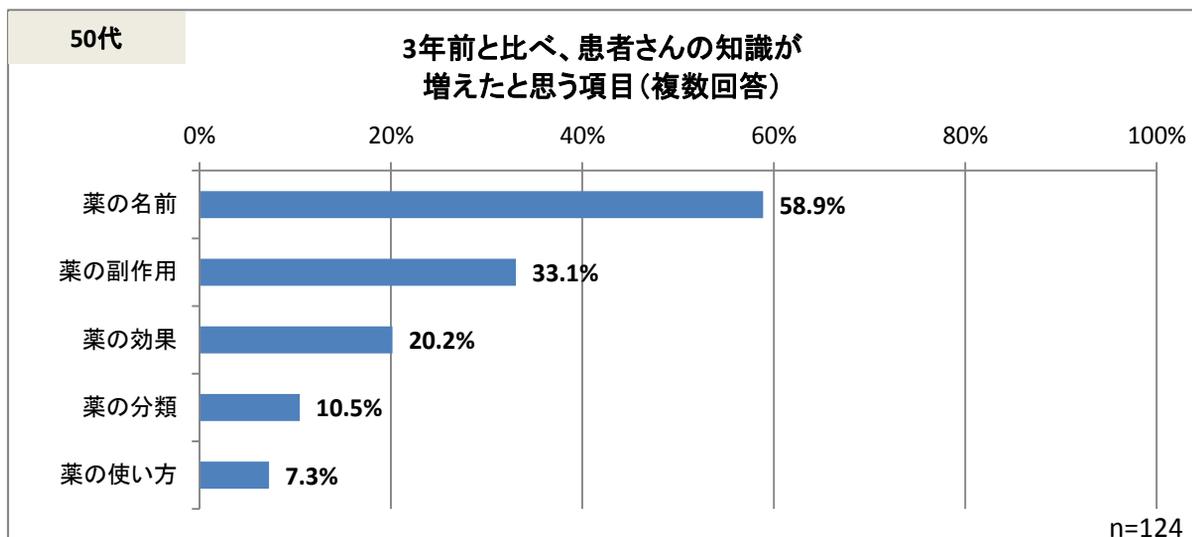
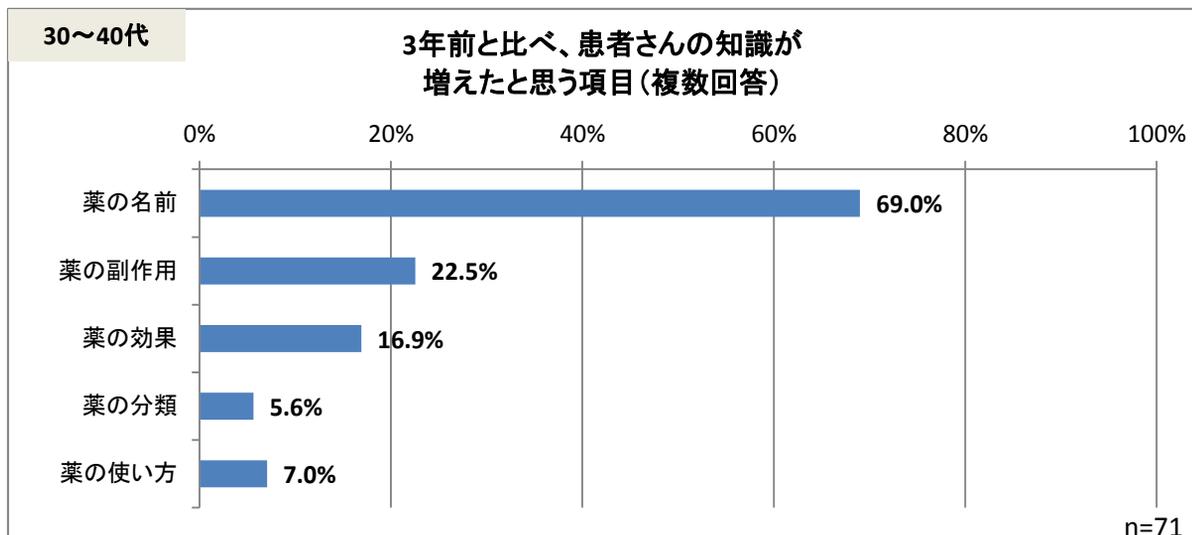
- ・費用を安くしてほしいとの希望。(理事長・院長／40代／三重県)
- ・経済的な理由。(勤務医／60代／静岡県)

【Q8】 3年前と比べて、患者さんの知識が増えたと思う項目は、どれですか。当てはまるものを全て選んでください。

3年前と比べて、患者さんの知識が増えたと思う項目は、「薬の名前」がもっとも多く、6割の医師が回答した。次いで、「薬の副作用」「薬の効果」が多かった。

30～40代では、「薬の名前」が圧倒的に多く、7割の医師が回答した。60代以上では、「薬の名前」と回答した医師は、他の年代と比べて少ないが、「薬の副作用」「薬の効果」「薬の使い方」と回答した医師は、他の年代と比べて多かった。

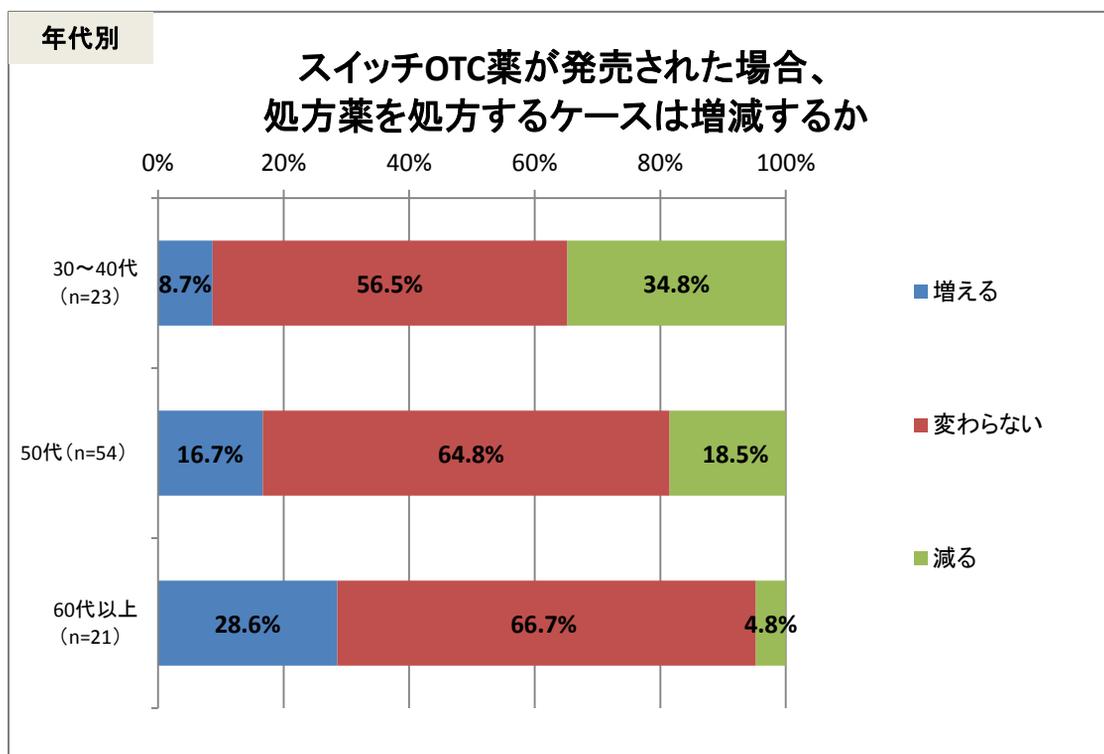
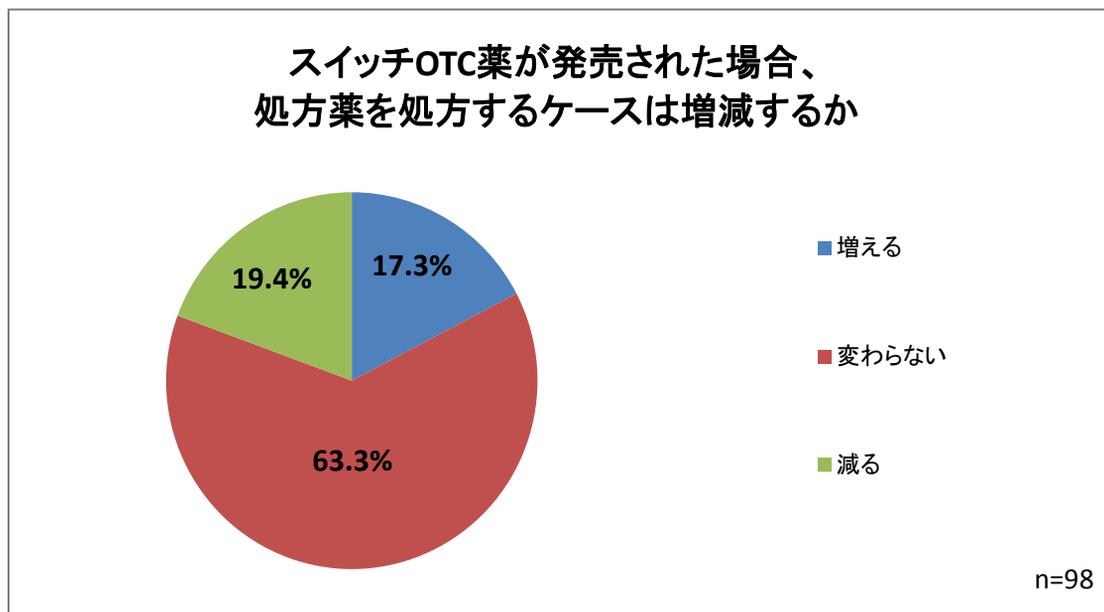




【Q9】あなたが処方していた薬のスイッチOTC薬が発売された場合、当該処方薬をあなたが処方するケースは増減しますか。どうなることが最も多いか選んでください。

スイッチOTC薬が発売された場合、当該処方薬を処方するケースが「増える」「減る」と回答した医師は、それぞれ2割弱となった。

年代が上がるにしたがって、「増える」の割合が高くなった。逆に、年代が下がるにしたがって、「減る」の割合が高くなった。



以下に「増える」「変わらない」「減る」と回答した理由を抜粋した。

◆増える

- ・希望する患者が多い。(理事長・院長／50代／山梨県)
- ・名前を知っているので、患者さんが安心して多い。(理事長・院長／50代／宮城県)
- ・市販薬よりも安価で手に入るから。(理事長・院長／60代／東京都)
- ・同じ効能であれば処方する。(理事長・院長／50代／京都府)

◆変わらない

- ・基本的に自分が良いと思うものを処方するから。(理事長・院長／50代／茨城県)
- ・良好な結果が出ているのなら、そのまま良いから。(理事長・院長／50代／北海道)
- ・OTCが処方薬と同じものと分かっている人は意外と少ない。(理事長・院長／60代／長崎県)
- ・OTCはたいてい高価。保険で出した方が安い。(副院長(常勤)／50代／千葉県)

◆減る

- ・市販薬より良く効く物を処方したいから。(理事長・院長／50代／茨城県)
- ・市販薬と同じものならば、医療機関で処方する意味がない。(勤務医／40代／和歌山県)
- ・医療機関を受診しない患者が増えてしまうため。(理事長・院長／40代／群馬県)
- ・保険で処方する理由に乏しくなるから。(理事長・院長／40代／栃木県)

---

本調査に関するお問い合わせ先:

株式会社QLife 広報担当 田中 智貴  
TEL : 03-3500-3235 / E-mail : [info@qlife.co.jp](mailto:info@qlife.co.jp)

<株式会社QLifeの会社概要>

会社名 : 株式会社QLife(キューライフ)  
所在地 : 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂7F  
代表者 : 代表取締役 山内善行  
設立日 : 2006年(平成18年)11月17日  
事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業  
企業理念 : 医療と生活者の距離を縮める  
URL : <http://www.qlife.co.jp>

---